

提案の背景

- まちの中に誰でも集えるコミュニティがあるといい
- ただ集まるだけじゃなく、何か目的があるといい
- 集まる場所を新しく作るのではなく、もう既にあるものを利用したい
- そこに集まる人とのつながりだけではなくて、外の人ともつながりたい
- 地域の特徴を出したい
- この場所を作ることで、一石二鳥じゃなくて一石四鳥くらいのいいことがあるように

- 郵便屋さんは、どんなまちにも1つはある身近な存在
- そんな郵便屋さんも、最近ではなくなってしまう地域もある

- 手紙をもらうと嬉しい
- 手紙を書いて、喜んでもらえるのも嬉しい
- 旅先で手紙を書くのが好き
- 手紙は、人とのつながりを形にしたようなもの
- 離れたところに住んでいる祖母。
しょっちゅう訪ねていけないけど、手紙はいつでも書ける

- いつでも、ふと気が向いたときに手紙をかける場所があるといい
- 自分のまちでも。出先でも。
- しかも、分かりやすいところがいい

- 最近、まちの形が変わってきている
- まちの中心部の、とてもいい場所に空き家が増えている
- 昔、まちの中心だったところが、からっぽになってしまうかもしれない

- 空き家の持ち主さんは、思い出のある家を人に貸すのは抵抗がある
- 自分達の子どもや孫が帰ってくるかもしれない、というのも理由の一つ
- 持ち主も納得できて、空き家も活かせる方法はないか



『郵便屋さんと手を組みませんか？』

無理のない範囲でおうちを貸してください

この場所は、まちのレタールームに変身します

- 誰でも、手紙を書きたくなったら立ち寄ってください
- そのために必要なものは、いつでも揃っています

大事なのは、人・もの・情報が行き交う活気のある場所であること

- 続けていくことも大事です。そのために、ルールはきちんと設けます
- ルールは地域の状況に応じて進化させていきます。

ボランティアじゃなく、仕事・雇用の場所とします

- そのために、行政と民間と地域でしっかり手を組みます。
- 地域の小学校・中学校・高校など、積極的に地域の若者を巻き込みます。
- 空間をおしゃれに演出することも、大事な要素の一つです。
- 地域にデザイナーがいれば、力を借ります

常に変化のある場所にしましょう

- ワークショップを開きます
- オリジナルの切手や便箋などが作れるとすてきです
- 郵便屋さんにもお得になるような活動をしましょう

レタールーム+ を目指します

- 段々と、その地域に必要な役割やあったら嬉しい・面白い機能が見えてきます
- レタールームだけ。と言わず、どんどん機能をカスタマイズしていきましょう
- できる人ができることを。分担して、負担にならないように

+ が大きくなっても構いません

- その機能は、きっとその地域に必要な機能です。きちんと捉えて向き合いたいものです
- 最初はどこも同じレタールームだったのに、いつの間にか地域の色が出てきます

こうやって地域に愛される場所を増やして、つなげていけたらいいなと思います。